

# 構造改革特別区域計画

## 1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

三重県

## 2 構造改革特別区域計画の名称

みえメディカルバレー創生特区

## 3 構造改革特別区域の範囲

津市

## 4 構造改革特別区域の特性

本県は、関西圏と名古屋圏の2大都市圏の中間に位置し、日本の中央に位置する地理的優位性や交通、物流拠点を活かして、日本でも有数の産業集積地となっている。近年は自動車産業に加え、IT産業や液晶産業など次世代の産業集積が進むなど、製造品出荷額が全国順位11位と全国でも有数な「ものづくり」の拠点となっている。

このような中、少子高齢化の進展や健康志向が増大するなかで、健康増進、医療、介護サービス、福祉機器等の市場拡大が見込まれる医療・健康・福祉産業の創出と振興に向け、本県では平成14年から、みえメディカルバレープロジェクトとして、本県全域を対象にその取組をスタートさせている。

県内には、県北部石油コンビナート地域の原薬関係、県中部の伊賀地域を中心とした医薬品、化粧品関係、県中南部の医療用具関係の企業が集積しているほか、当

該区域及びその周辺（四日市市・松阪市）には、6大学、1高等専門学校のほか、四日市市の鈴鹿山麓リサーチパークには県科学技術振興センター、保健環境研究部、国際環境技術移転研究センター、ゲノム解析センター（タカラバイオ㈱ドラゴンジェノミクスセンター）などの研究機関が集積している。

当該区域は、こうしたポテンシャルを活かすとともに、さらに外国人研究者を活用して、みえメディカルバレープロジェクトの取組を促進することにより、先端的な研究開発やバイオ産業が集積する地域を形成することが十分可能な区域となっている。

#### （１）大学・研究機関の集積

当該区域には、三重大学、県立看護大学や県科学技術振興センター工業研究部、医薬品研究センターなどが、研究開発機能の整備を進めており、企業との共同研究による産学官連携の取組が進んでいる。

#### （２）創業・技術革新などの支援体制の整備

財団法人三重県産業支援センターでは、創業や研究開発・事業化を通じて、新たな分野を開拓する事業者を支援している。また、三重TLOでは、技術移転、研究開発支援、交流支援により産学官連携を促進している。

#### （３）充実した交通・情報基盤

当該区域は関西圏と名古屋圏の中間に位置して、優れた高速交通アクセスを有する位置にあり、さらに平成17年には伊勢湾を挟んだ対岸に完成する中部国際空港に約40分で海上アクセスが可能となり、国内外の主要都市へのネットワークが容易にできる優位性を有する区域にある。また、バイオインフォマティクス等の先端技術に必要な情報通信インフラは、CATVによる超高速・大容量の提供が可能な環境が整備されている。

#### （４）充実した産業集積の拠点整備

津市では津オフィス・アルカディアを核とした中勢北部サイエンスシティを整備して、ITやバイオなど成長産業の産業活動の受け皿を整え、企業誘致を積極的に進めている。

これら成長産業の立地にあたって、手厚い立地奨励金の交付補助制度を設

け、特徴的な成長産業の集積を促進している。

5 構造改革特別区域の意義

みえメディカルバレー創生計画4に同じ

6 構造改革特別区域の目標

みえメディカルバレー創生計画4に同じ

7 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

みえメディカルバレー創生計画5に同じ

8 特定事業の名称

(1) 外国人研究者受入れ促進事業(501・502・503)

(2) 特定事業等に係る外国人の入国・在留申請優先処理事業(504)

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

みえメディカルバレー創生計画8に同じ

## 別 紙

### 1 特定事業の名称

外国人研究者受入れ促進事業（501・502・503）

### 2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

次の機関との契約に基づいて当該特区内に所在する施設において、医療・健康・福祉分野に関する研究を行う業務に従事する外国人研究者及びその配偶者又は子  
・ 国立大学法人三重大学

### 3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

### 4 特定事業の内容

次に掲げる機関・施設において、医療・健康・福祉分野に係る外国人研究者の受入れを行うことにより、受入れた大学における研究開発の促進とその成果を活かした産学連携の取組の促進を図る。

## 機関及び施設の概要

機関名 国立大学法人三重大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学研究科・医学部	津市江戸橋2丁目 174	医療・健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 先端的な生命医科学研究、高度先端医療に関する研究等医療分野に関する研究を行っている。</li><li>・ ゲノム技術を応用した機能性食品の研究等健康分野に関する研究を行っている。</li><li>・ 利用者ニーズを考慮した福祉用具の技術開発等に関する研究等福祉分野に関する研究を行</li></ul>

			っている。 等各特定分野における研究を行っている。
生物資源研究科 生物資源学部	津市上浜町 1515	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天然資源を活用した医薬品への応用に関する研究等医療分野に関する研究を行っている。</li> <li>・ 機能性物質の生理作用を応用した機能性食品の研究等健康分野に関する研究を行っている。</li> <li>・ 天然資源、バイオ関連技術を応用した福祉用具の研究等福祉分野に関する研究を行っている。</li> </ul> 等各特定分野の研究を行っている。
工学研究科 工学部	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面ディスプレイの特性を応用した医療機器システムの研究等医療分野に関する研究を行っている。</li> <li>・ 生体適合性に配慮したマッサージチェアの研究等健康分野に関する研究を行っている。</li> <li>・ 情報エレクトロニクス、ナノテクノロジー等の技術を応用した福祉用具の研究等福祉分野に関する研究を行っている。</li> </ul> 等各特定分野の研究を行っている。

なお、上記の各施設は各特定分野における研究の中核となる施設である。

## 5 当該規制の特例措置の内容

< 特区法 15 条第 1 号に該当すると判断した根拠 >

三重大学医学部、生物資源学部、工学部及び生命科学研究支援センターは当該区域のライフサイエンス、ナノテク、IT等の研究開発の拠点となっている。また、施設内には、研究成果を産業化につなぐ機能を持つ創造開発研究センターや技術移転等により産学連携を進める(株)三重TLOが立地している。中でも、創造開発研究

センター内に設置されたキャンパス・インキュベータには、研究者や学生が入居し、産学連携の取組を意欲的に進めており、起業・創業拠点として大きな役割を担っている。

また、当該区域に立地する県科学技術振興センター工業研究部では、医療機器・福祉機器等の研究開発を実施しており、同研究所の医薬品研究センターではオープンラボを整備して、研究開発、人材育成の取組を行っている。

一方、中勢北部サイエンスシティでは、研究開発拠点「津オフィス・アルカディア」を中心に先端的産業分野の研究開発を進めることとしており、起業家支援室及び共同研究施設である共同研究開発室が設置されるなど、この区域には医療、健康福祉分野に関する研究開発を行う施設が集積しこれに関連する産業の発展がみこまれると判断した。

< 特区法 15 条第 2 号に該当すると判断した根拠 >

三重大学ではこれまでも各国の外国人研究者を受入れており、当該特定事業を活用することにより、さらに幅広い優秀な研究者を受入れるための環境が整備されることになる。現在、学内に設置されているキャンパス・インキュベータには外国人研究者も入居して、研究成果を生かした事業化を進めている。今後とも多数のベンチャー企業の創出が見込まれており、優秀な外国人研究者が特定分野の研究成果を生かした事業活動により起業の促進が図られ、さらには地域産業の発展が相当程度見込まれると判断した。

## 別 紙

### 1 特定事業の名称

特定事業等に係る外国人の入国・在留申請優先処理事業（504）

### 2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

次の機関との契約に基づいて当該特区内に所在する施設において、医療・健康・福祉分野に関する研究を行う業務に従事する外国人研究者及びその配偶者又は子  
・ 国立大学法人三重大学

### 3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定の日から

### 4 特定事業の内容

次に掲げる機関・施設において、医療・健康・福祉分野に係る外国人研究者の受入れを行うことにより、受入れた大学における研究開発の促進とその成果を活かした産学連携の取組の促進を図る。

## 機関及び施設の概要

機関名 国立大学法人三重大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学研究科・医学部	津市江戸橋2丁目174	医療・健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 先端的な生命医科学研究、高度先端医療に関する研究</li><li>・ ゲノム技術を応用した機能性食品の研究</li><li>・ 利用者ニーズを考慮した福祉用具の技術開発等に関する研究</li></ul> 等各特定分野における研究を行っている。

生物資源研究科 生物資源学部	津市上浜町 1515	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天然資源を活用した医薬品への応用に関する研究</li> <li>・ 機能性物質の生理作用を応用した機能性食品の研究</li> <li>・ 天然資源、バイオ関連技術を応用した福祉用具の研究</li> </ul> 等各特定分野の研究を行っている。
工学研究科 工学部	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面ディスプレイの特性を応用した医療機器システムの研究</li> <li>・ 生体適合性に配慮したマッサージチェアの研究</li> <li>・ 情報エレクトロニクス、ナノテクノロジー等の技術を応用した福祉用具の研究</li> </ul> 等各特定分野の研究を行っている。

#### 外国人の活動の内容

上記に掲げる施設において特定分野の研究若しくは研究の成果を利用して行う事業活動及び当該外国人の配偶者又は子としての活動。

#### 5 当該規制の特例措置の内容

外国人研究者受入れ促進事業等に基づく措置とあわせて、本事業の特例措置を実施することにより、外国人研究者の受入れや外国人研究者による研究開発プロジェクトが見込まれる。